

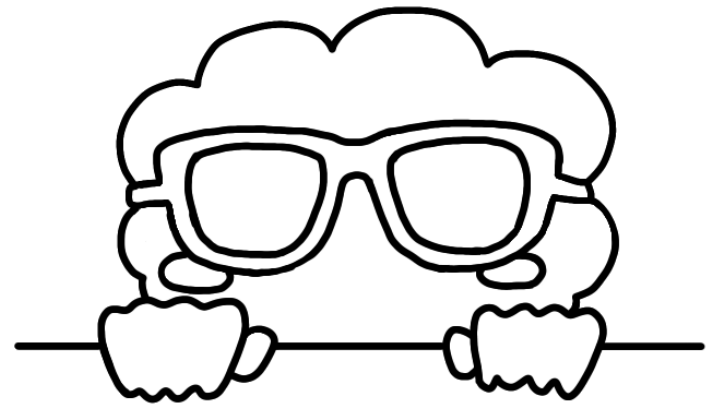
発達アセスメントに基づく コミュニケーション指導



大阪府立住之江支援学校

本日の流れ

- (1) 本校の実態と取り組み
- (2) 小学部の取り組み
～サイン言語を中心としたコミュニケーション指導～
- (3) 実態把握から自立活動の指導計画の作成へ
- (4) 今後の課題



(1) 本校の実態と取り組み

大阪府立住之江支援学校 在籍数

小学部	77名
中学部	76名
高等部	113名
合計	266名

教室にいるいろいろな子どもたち

- 音声言語でコミュニケーションができる
- 身近なことばは理解しているが、**発語がない**
- 話せるけれど、**あまり声を出さない・出せない**（ASD・場面緘黙）
- 発語はできるけれど、**不明瞭**（ダウン症・構音障がい）



ジェスチャー



指さし



クレーン現象



音声言語の表出に課題がある (思いや要求が伝わらない)



自傷・かんしゃく・問題行動につながるおそれ
(障がいによる困難)



改善・克服を目指すための**コミュニケーション指導**

知的障がい児の **QOL (生活の質)** の向上

ADL (日常生活動作)



AAC (拡大代替コミュニケーション)

コミュニケーション保障

R 4 年 5 月 施行

「利用しやすさ」

障害者情報アクセシビリティ・ コミュニケーション施策推進法



障がいがあることで、
必要な情報が得られない
意志疎通が難しい

全ての障がい者が、あらゆる分野の活動に参加するために
障がい者による情報の取得利用・意思疎通に係る施策を
総合的に推進する（共生社会の実現）

基本理念

- ① 障害の種類・程度に応じた手段を選択できるようにする
- ② 日常生活・社会生活を営んでいる地域にかかわらず等しく情報取得ができるようにする
- ③ 障がい者でない者と同一内容の情報を同一時点において取得できるようにする
- ④ 高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用を通じて行う（デジタル社会）



- **障害者基本法**に反映・**障害者白書**に実施状況を明示
- 施策の実施に必要な法制上・財政上の措置等

本校の取り組み

- ① 授業研究シート
- ② 自立活動についての教職員アンケート（令和4年度）
- ③ A²〔支援のための発達アセスメントツール〕
（A²「個別の教育支援計画」ツールより）

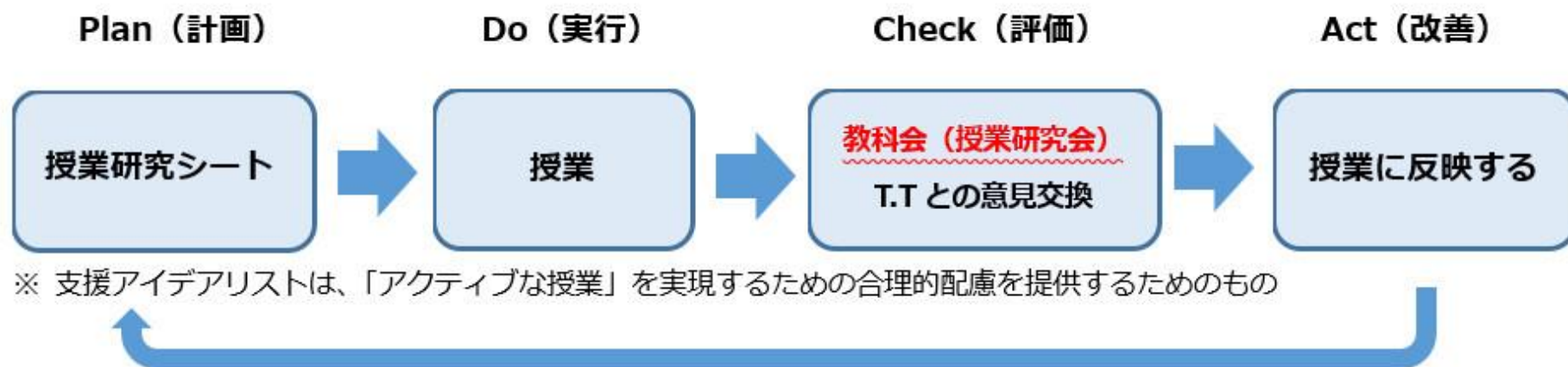
① 授業研究シート

学校全体が「主体的・対話的で深い学び」を実現するための
支援のアイデアリスト（毎年1回、全ての授業で実施）

アクティブラーナーを支える支援アイデア(授業の中で大切にしている項目にチェック)

基礎設定・環境 (主体性・対話・深い学び)	主体的な学び(自ら考え行動できる力を高める工夫)
<input type="checkbox"/> ①: 重点的に工夫 ○: 工夫している なし: 該当しない <input type="checkbox"/> 理解の程度・発達に応じた学習内容の変更・調整	<input type="checkbox"/> ①: 重点的に工夫 ○: 工夫している なし: 該当しない <input type="checkbox"/> 明確な目標提示
基礎設定・環境	主体的な学び
<input type="checkbox"/> 児童生徒にとって便利な掲示物 <input type="checkbox"/> 知識やことばを育む掲示物 <input type="checkbox"/> 児童生徒にわかる提示方法 <input type="checkbox"/> 小さなグループ分け・活動形態の調整 <input type="checkbox"/> 必要に応じて休憩ができる教室環境 <input type="checkbox"/> 感覚遊びや運動を途中に取り入れる <input type="checkbox"/> 慣習の配慮・工夫 <input type="checkbox"/> 個々に応じた学習時間・休憩構成の設定 <input type="checkbox"/> 生徒の反応速度に応じた指導の工夫、主体的に活動するための達成・時間に関する調整 <input type="checkbox"/> 感覚ニーズに対応する活動・器具(令和2年度追加) <input type="checkbox"/> 導線や目的の場所が視覚的に理解できる工夫	<input type="checkbox"/> 場所や活動内容の一貫性・構造化 <input type="checkbox"/> 実態に合った、明確なルールの提示 <input type="checkbox"/> 各々の得意なやり方で取り組む設定 <input type="checkbox"/> 選択できる活動 <input type="checkbox"/> 最低限の「指示」。主体性を育む会話 <input type="checkbox"/> 最後まで自力で取り組める支援ツール <input type="checkbox"/> 体験を始めにさせる・体験を基にした学習展開 <input type="checkbox"/> 「得意」を活かした学習 <input type="checkbox"/> モチベーションの高い活動 <input type="checkbox"/> 遊化園(子)の活用 <input type="checkbox"/> 達成状況を視覚的に提示 <input type="checkbox"/> ケアパ/バスポート ² 等を活用し自らの学習過程を確認
対話的な学び(コミュニケーションの力を高める工夫)	深い学び(得意が変わっても学んだことを活用できる力を高める工夫)
<input type="checkbox"/> ①: 重点的に工夫 ○: 工夫している なし: 該当しない <input type="checkbox"/> 児童生徒がリラックスできる雰囲気作り	<input type="checkbox"/> ①: 重点的に工夫 ○: 工夫している なし: 該当しない <input type="checkbox"/> 見る・触る・嗅ぐ・話す・作る・体験するなどの複数の感
対話的な学び	深い学び
<input type="checkbox"/> 4人以下の小グループでの言語活動 <input type="checkbox"/> 小グループでのディスカッション <input type="checkbox"/> 友だち同士の関わり合いを無った設定 <input type="checkbox"/> 子どもが応えたいようになる指導者からの質問 <input type="checkbox"/> 言葉を広げる指導者のほたらきかけ <input type="checkbox"/> 会話を広げる指導者のほたらきかけ <input type="checkbox"/> 対話の履帯が確認できる工夫 <input type="checkbox"/> エアリング ² やロールプレイの活用	<input type="checkbox"/> 学校生活場面で直ぐに使える題材 <input type="checkbox"/> 生活場面で応用可能・役立つ題材 <input type="checkbox"/> 児童生徒にとって役立つと感じられる題材 <input type="checkbox"/> 場面が変わってもできるためのステップ・設定 <input type="checkbox"/> 自分の長所について理解する学が <input type="checkbox"/> 自己効力感 ³ や自信 ⁴ を高める学び <input type="checkbox"/> 自分の志 <input type="checkbox"/> 「これができたら <input type="checkbox"/> 実現につながる <input type="checkbox"/> 問題解決・学 <input type="checkbox"/> (課題解決の
	支援・配慮・設定

本校のカリキュラムマネジメント

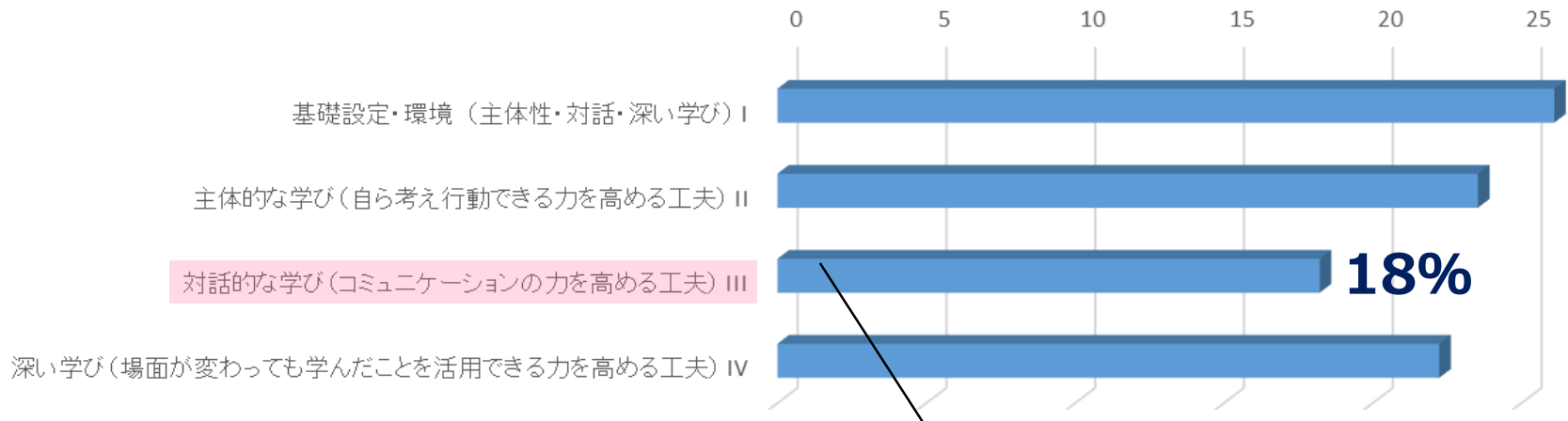


学部または教科会で
ディスカッションを行う

令和2年度 全校

4つの領域比較 [基礎設定・主体的・対話的・深い学び]

小中高 4つの領域比較(回答数203)
パーセンテージ表示(◎:2点、○:1点、チェックなし:0点)

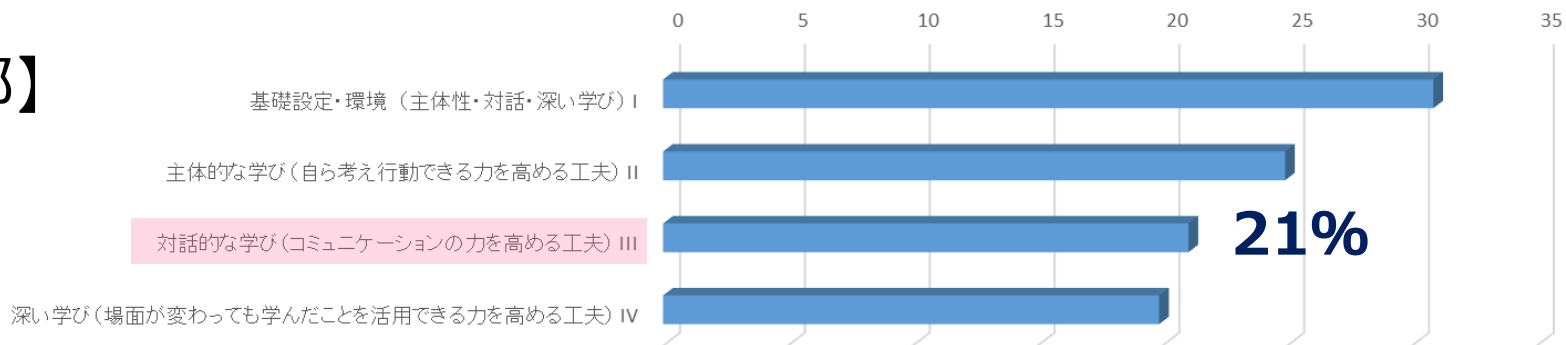


**コミュニケーション
の指導に課題がある**

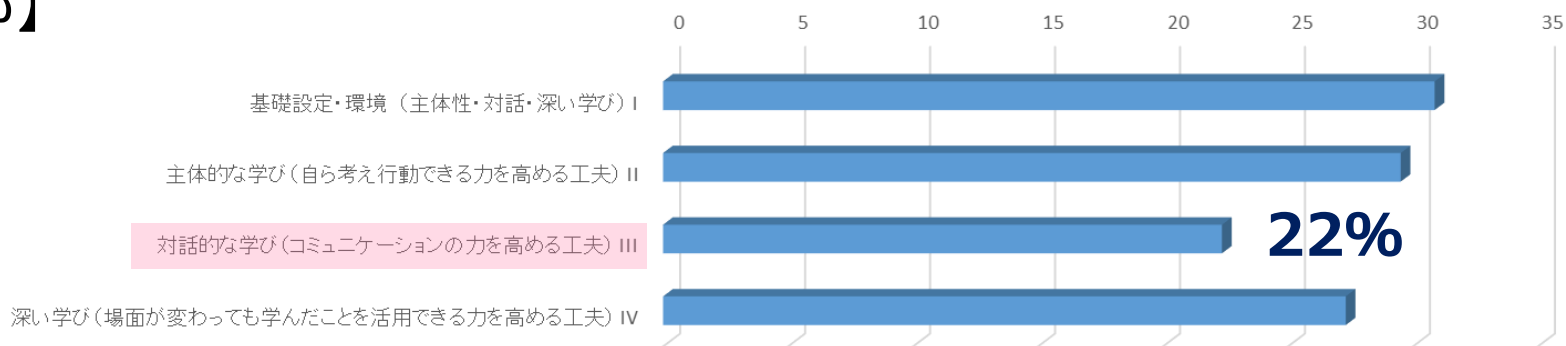
令和2年度 4つの領域比較 [基礎設定・主体的・対話的・深い学び]

コミュニケーションに関連する支援の課題

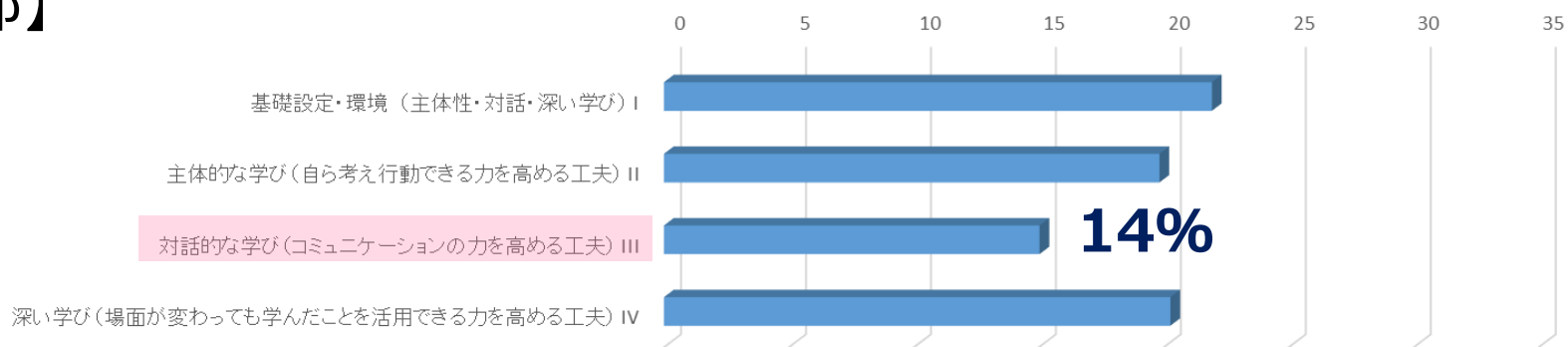
【小学部】



【中学部】



【高等部】



コミュニケーションの指導に
力を入れよう！



AAC (拡大・代替コミュニケーション)

ツール要・非音声系

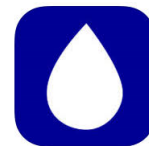
PECS

絵カード交換式
コミュニケーションシステム















ツール要・音声系

Drop Tap



VOCAタイプのAACソフトウェア
(音声を出力するコミュニケーションのための機器)

 好き	 きらい	 はずかしい	 がっかり
 おいしい	 まずい	 おもしろい	 つまらない
 やさしい	 むずかしい	 おこる	 こわい

自発的なコミュニケーションを
育むことができるツール

AAC（拡大・代替コミュニケーション）

手話をベースにした**サイン**



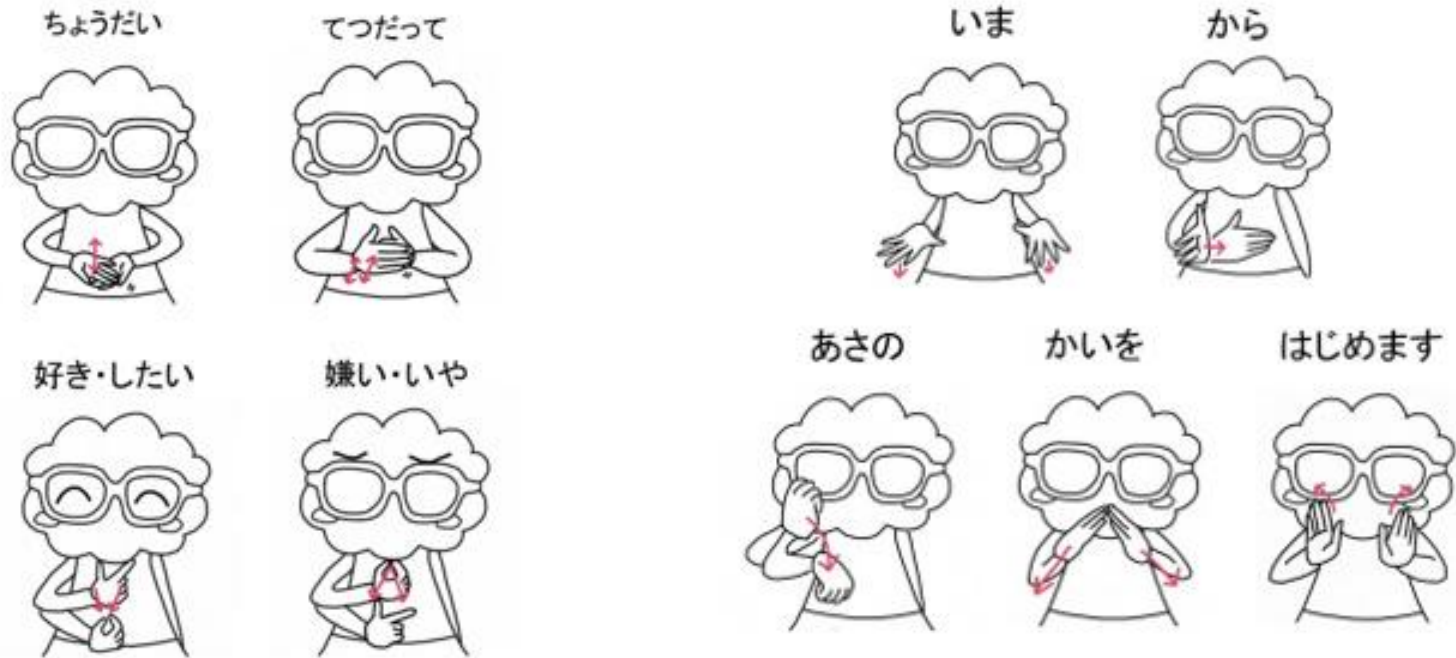
日本全国で通じる言語
（一部、地域性あり）

簡単な単語・動詞など

**いつでも、どこでも、誰でも
無料で使える**

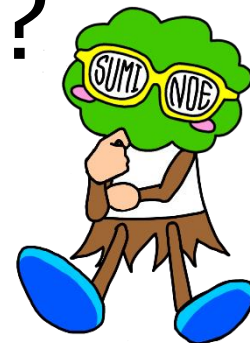
緑木の妖精 ミドちゃん

「ミドちゃんのサインカード」



- 絵カードを準備して掲示し、いつでも確認できるようにする
- 児童・生徒に対して、教員が動作の見本を提示する
- ことばを声に出しながら、サインの表出を促す
- 要求を表すサインから始め、語彙を増やす
可能であれば定型文等に発展させる

サインを使うと発語が減る？



- 「伝わる」という経験を重ねる
- 「伝えたい」という気持ちを育てる
- 話しことばの前提となることばの概念を育てる

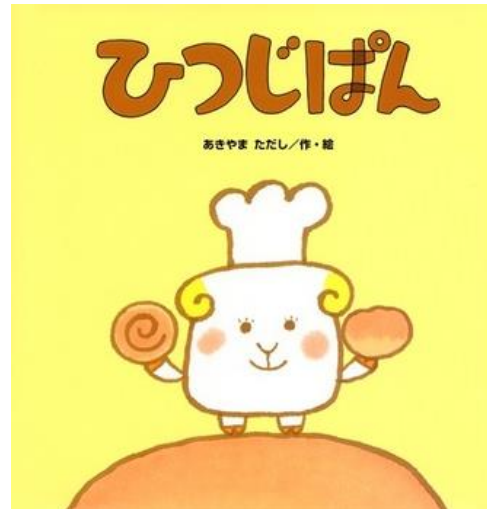


- コミュニケーションの力を高める
- 音声言語獲得の糸口になる場合もある

「手の動きと同時に声を出す」という指導により、発語が促進される！

どんな場面で使える？

- 単語・指文字でのコミュニケーション
定型文を組み合わせる
- 授業の開始・終わりのあいさつ
- 絵本の読みきかせ（「くりかえし」があるもの）



「朝の会」をしよう

きりつ



ちやくせき



いま



から



あさの



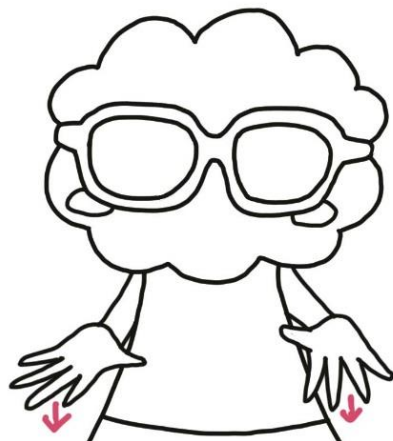
かいを



はじめます



きょうの



てんきは



はれ



あめ



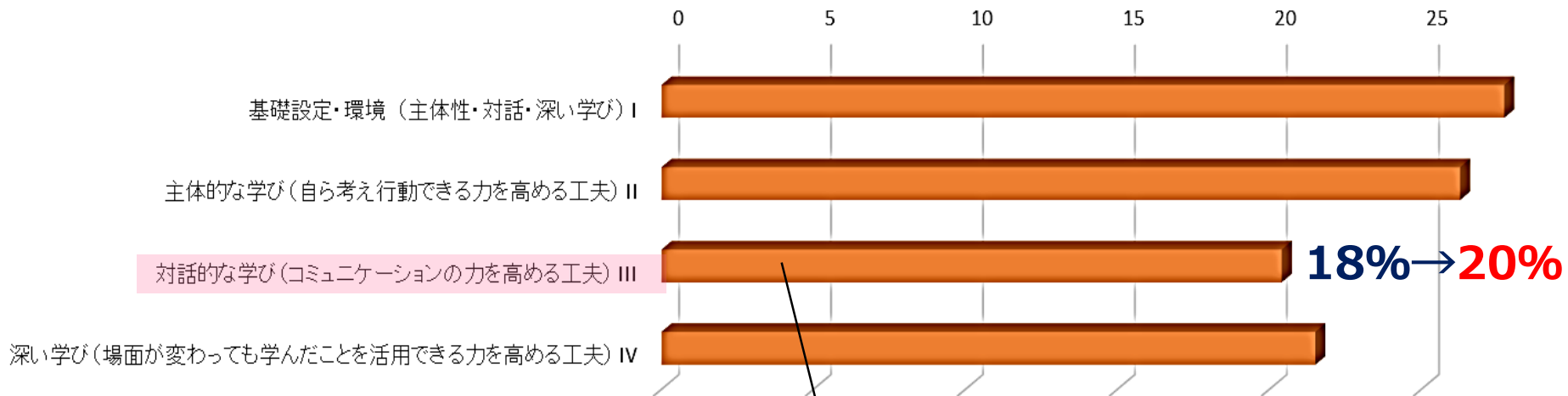
くもり



令和3年度 全校

4つの領域比較 [基礎設定・主体的・対話的・深い学び]

小中高 4つの領域比較(回答数203)
パーセンテージ表示(◎:2点、○:1点、チェックなし:0点)

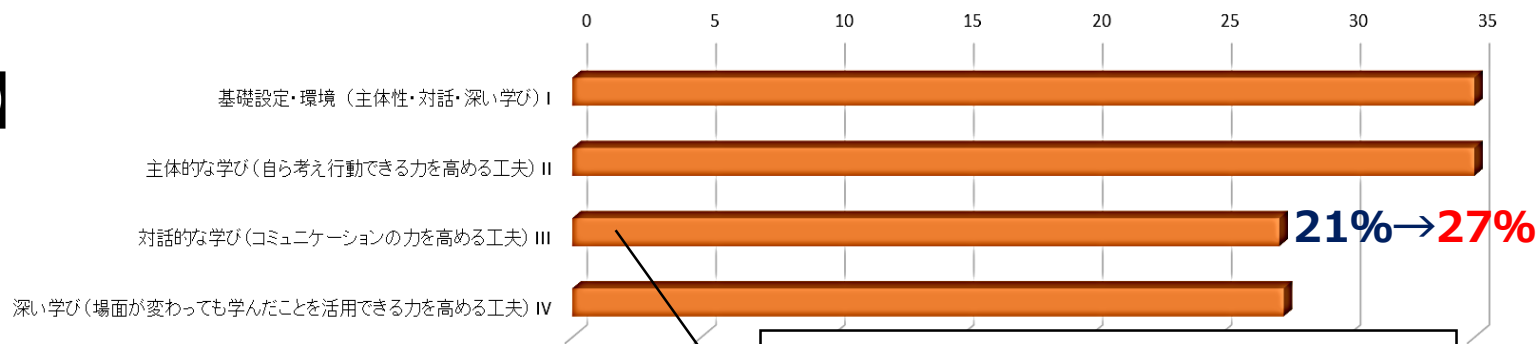


2ポイント改善

令和3年度 4つの領域比較 [基礎設定・主体的・対話的・深い学び]

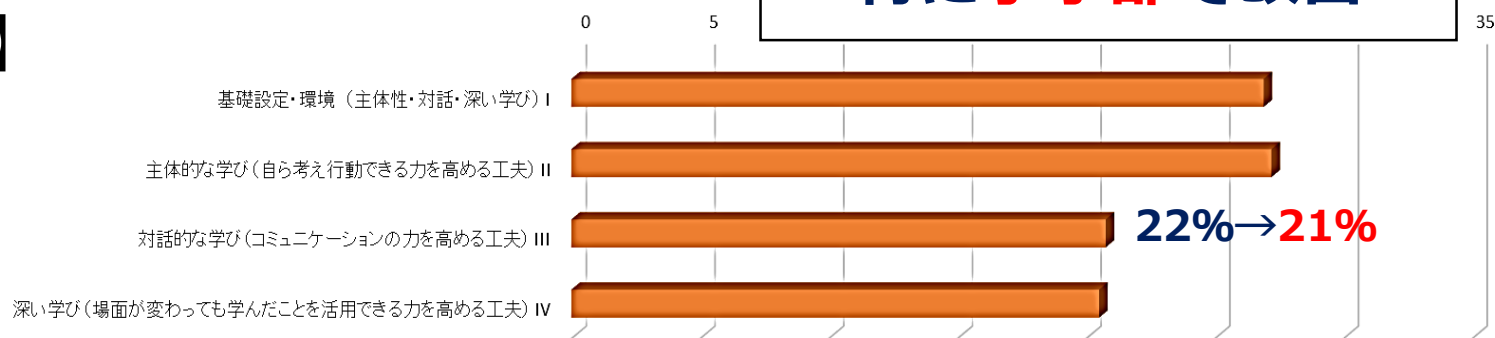
全体として、コミュニケーション支援が増えた

【小学部】

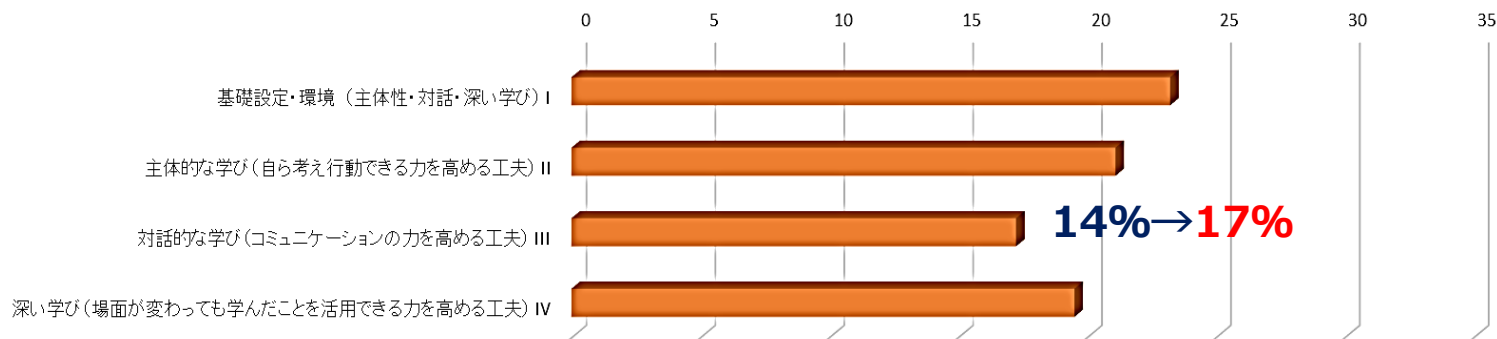


特に小学部で改善

【中学部】

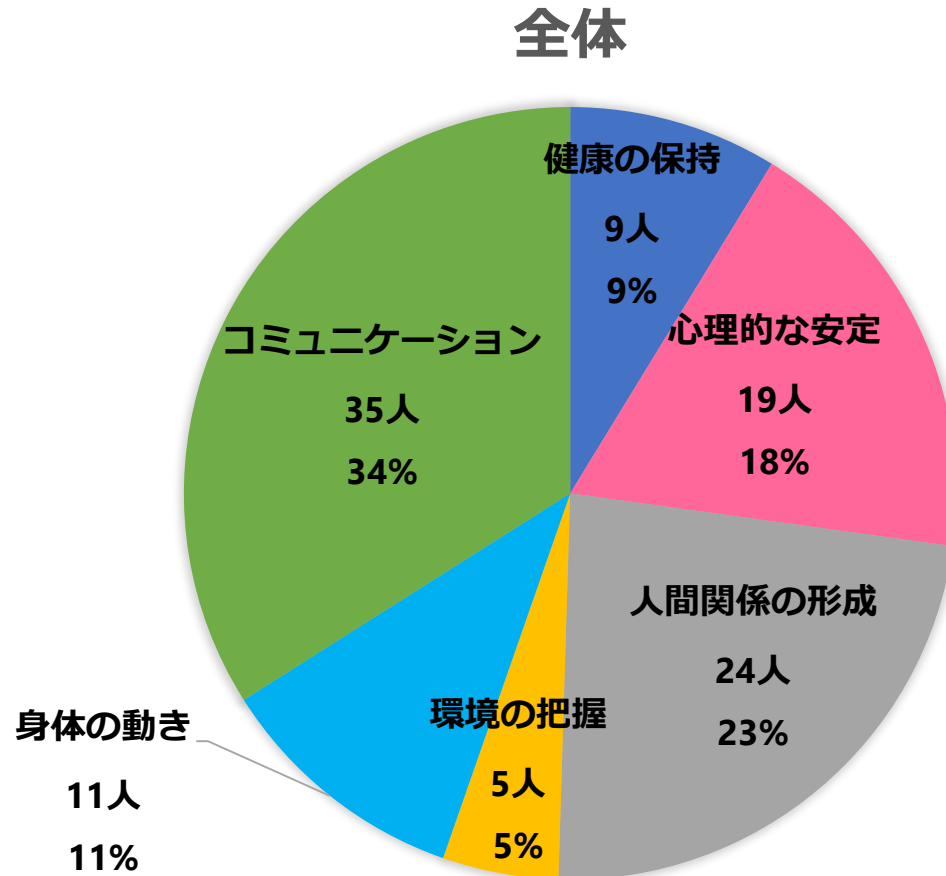


【高等部】



② 自立活動についての教職員アンケート（令和4年度）

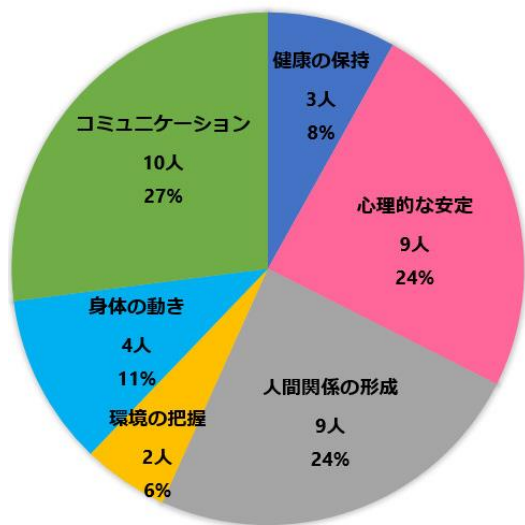
「6区分」の中で特に力を入れて取り組んでいる項目（複数回答可）



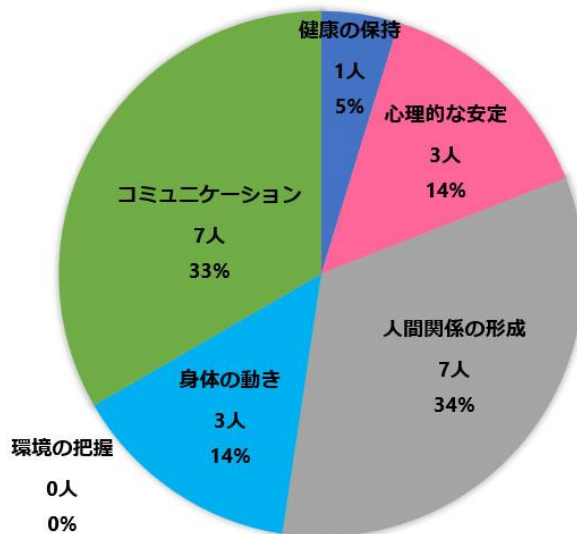
「**コミュニケーション**」に力を入れている教員が多い

「6区分」の中で特に力を入れて取り組んでいる項目（複数回答可）

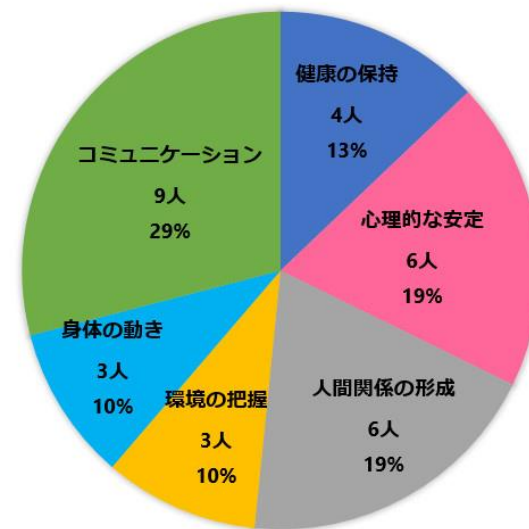
小学部



中学部



高等部



各学部とも、傾向は似てますね！

自立活動の具体的な取り組み（コミュニケーション）

- (小) ・ 絵カード、写真カードの使用（視覚支援） [8人]
・ **サイン、ジェスチャーの使用 [6人]**
・ 「ちょうだい」などの意思表出を増やす、気持ちを伝える [4人]
・ 言葉でのやり取り ・ 丁寧語の指導
・ 実態に応じて、コミュニケーションの取り方の幅を広げる
（言葉、ジェスチャー、選択肢、絵カードを触る） [2人]
- (中) ・ 絵カード（視覚支援） [2人] ・ **サイン**
・ ことばづかいの指導（ロールプレイングなど）
・ 自分の要求を伝える ・ iPadの使用
- (高) ・ あいさつ（友だちとの会話、プリント学習） [2人]
・ 見本を提示する（報告の仕方など）
・ **サイン** ・ iPadの使用 ・ 視覚支援

③ A² [支援のための発達アセスメントツール] (A² 「個別の教育支援計画」 ツールより)

情動	4	① 感情的にはなるが、自分の思いを相手に伝え、助けを求める	○	●	●	
		② イライラする状況でも、その場を離れて別の活動に取り組むなど、自分なりにシンプルな方法で気持ちを切り替えようとする	○	●	●	
	5	③ 大人の働きかけがあれば、イライラや不安などの感情を爆発させずに抑えることができる	○	○	●	
		④ 難しいことはあるが、基本的にはルールを守って集団での活動に参加する	●	○	○	
		⑤ 基本的にはルールを守って大きな集団での活動に参加する	○	●	○	
	7	⑥ 友だちとの関係や集団の中で「私は○○が得意だ」など自信を持っているものがある	○	●	○	
	8	⑦ 他人の気持ちを察して自分の行動を調整する	○	○	●	
		⑧ 集団のルールに合わせる	○	○	●	
		⑨ 困っている友だちを助けるなど、クラスや友だち集団の中で自分ができることを進んでする	○	●	○	
	9	⑩ 他者との間でお互いの要求の折り合いをつけるなど、大人の助けがなくても他者の視点を理解して、言動を場に合わせてられる	○	○	●	
			合計	7		

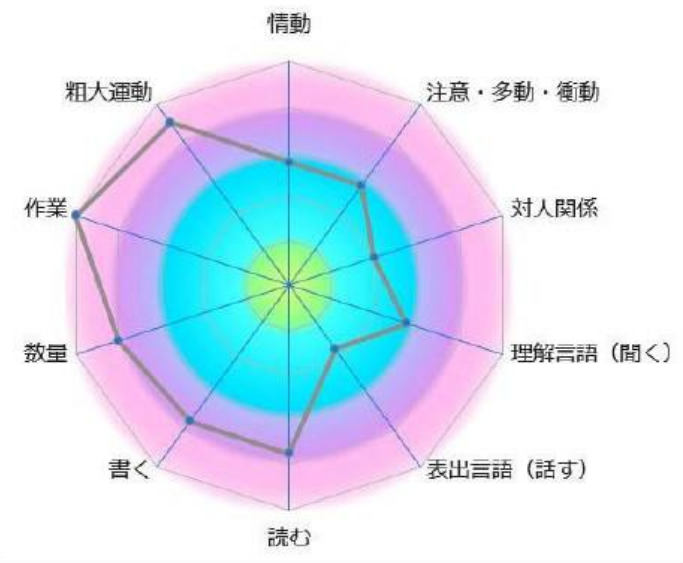


発達段階を選び、
クリックするだけ！

- 小学部2段階
- 小学部3段階
- 中学部1段階
- 中学部2段階

新学習指導要領の段階
目安を判定

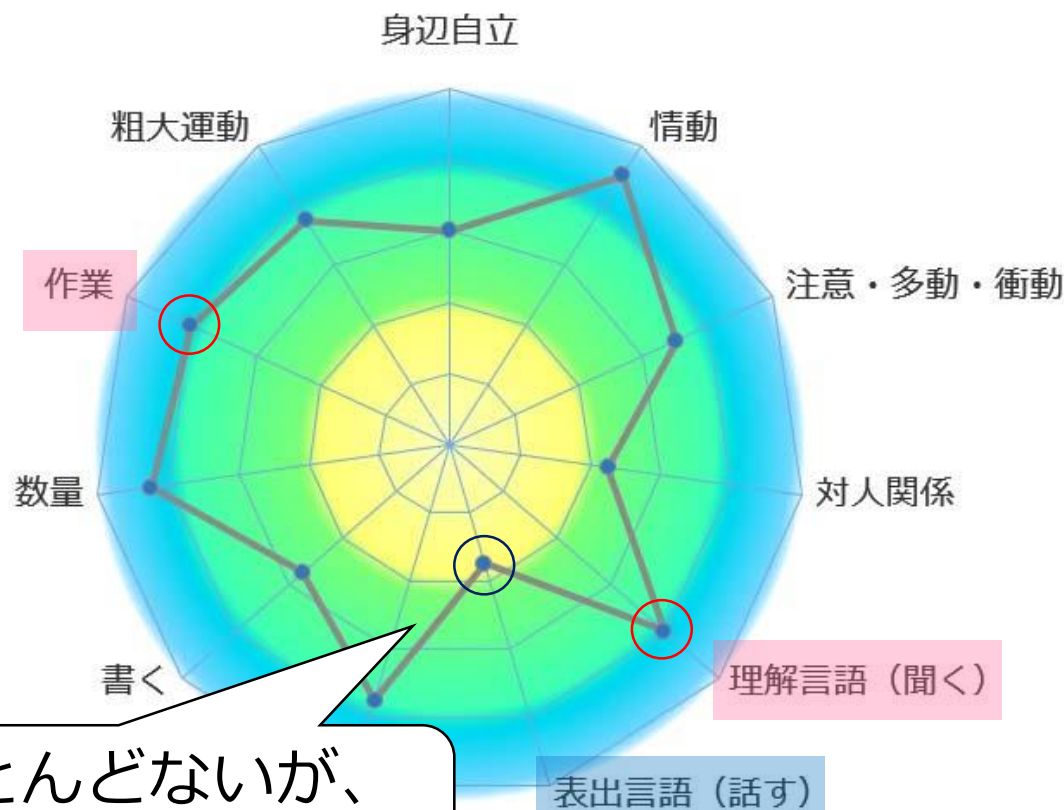
「長所」と「課題」を
その場で視覚化！



アセスメントレーダーから「**自立活動**」を考える
(児童生徒全員に実態把握を実施)

サインの指導は、どんな子どもに向いてる？

「理解言語」 + 「作業」が得意



発語はほとんどないが、
指示は理解している

コミュニケーション








(2) 言語の受容と表出に関すること






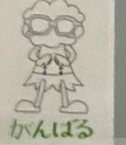
サインを活用し、**表出言語**を増やす







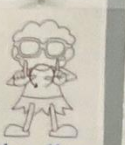

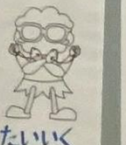

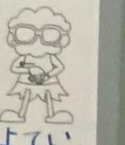


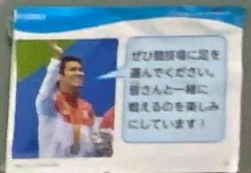
「今日」「昨日」などの時制を伝えられるようになり、
コミュニケーションの幅が広がった

み て な の け り じ な ん

 せずかしい	 好き	 おいしい
 はいぶ	 きい	 おもしろい
 つかれた	 わからない	 うれしい

 いよ	 わがた
 つたて	 なうだい
 ありがとう	 かんはる

 ばんきょう	 がっこう	 せんせい	 わたし
 こくご	 おんがく	 せいがつ	 トイレ
 たいいく	 さんすう	 よてい	



(2) 小学部の取り組み

～サイン言語を中心としたコミュニケーション指導～



< ことば (表出) >

会話

単語



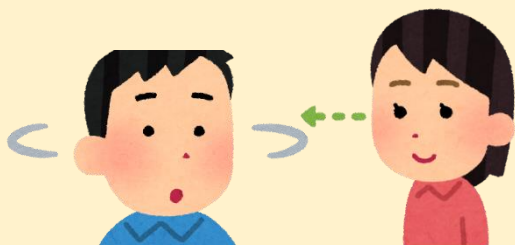
何もなし

指さしなど



< コミュニケーション >

目線を合わせるのが難しい



指導者の意図が伝わりにくい



気持ちの共有が難しい



ことばとコミュニケーション支援の効果

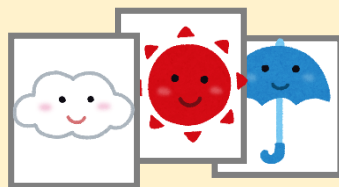


サインを使用することで

- 発音が不明瞭な児童同士でも、コミュニケーションがとれる。
- 伝えたい言葉がスムーズにできるようになった。
- 言葉が話せなくても言語表出ができるようになった。



ことばの支援



- 日常生活で、ことばに触れる機会を多くもつことで、言語活動に広がりが出てきている。

(3) 実態把握から自立活動の指導計画の作成へ

実態把握から具体的な指導内容を設定するまでの流れの例

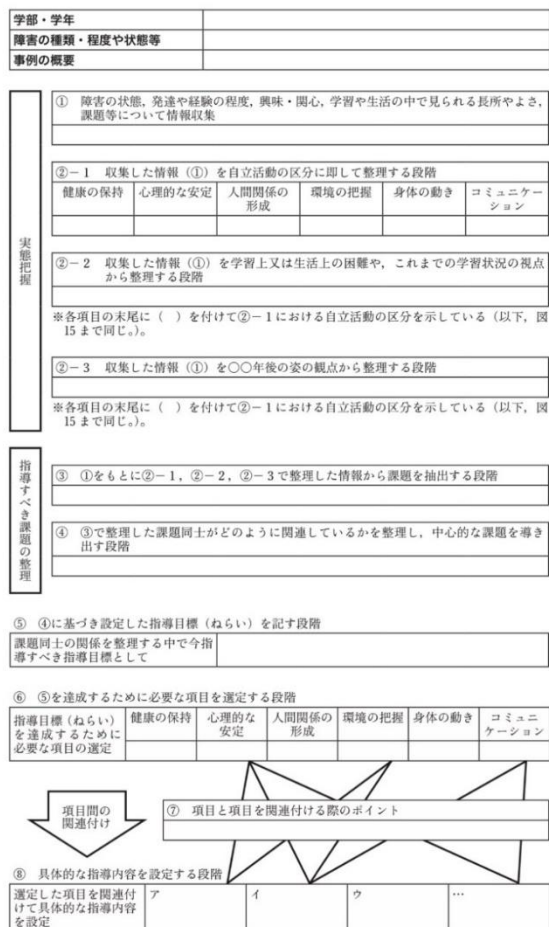
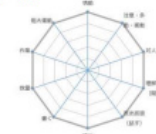


図2 実態把握から具体的な指導内容を設定するまでの流れの例(流れ図)

R4年度 新転任者研修会にて実施

「自立活動」の指導計画を作ってみよう！（実態把握から目標設定まで）

① 保護者アンケートを参考に、本人・保護者の願いを把握する《本人参画型》



② A2のアセスメントレーダーを参考に、指導に活かしたい良さ・強みを把握する《長所活用型》

強みの 発揮に活かす ・伸ばす		
課題の 克服の検討		

③ 児童・生徒の実態について、A2または「自立活動の指導のための早見表（気になる行動）」を参考にして6区分に整理し、優先課題を選定する（下段に◎または○を記入する）

※ 障がいの状態、発達や経験の程度、どんなことが好きか、長所や課題について

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション

④ ③で選定した項目を関連付け、①～②を参考に、指導目標及び、指導方法を設定する

★ 本人が苦手なことや、困っていることを改善・克服するために、何ができるか

★ 卒業後や数年後、どうなっていてほしいか（社会参加、QOLの向上を目指して）

長期目標		
	短期目標	指導方法（発達段階、教材・教員の工夫、配慮など）
前期		
後期		

※ 授業研究シートの「アクティブラーナーを支える支援アイデア」や、「自立活動の指導のための早見表（指導の内容）」を参考にする

『自立活動の指導のための早見表』



	気になる行動 (例)	関連項目	指導の内容 (例)		気になる行動 (例)	関連項目
健康の保持	<input type="checkbox"/> 昼夜逆転生活・睡眠の欠乏または過眠。 <input type="checkbox"/> 偏食、少食・過食がある。 <input type="checkbox"/> 常に長袖または半袖。 <input type="checkbox"/> 不潔な状態 (爪、歯、体、髪の毛等)。	生活のリズムや生活習慣の形成	<input type="checkbox"/> 規則正しい生活・睡眠のリズム <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> 衣服の調節 <input type="checkbox"/> 清潔	環境の把握	<input type="checkbox"/> 視力が悪いのに眼鏡をかけない。 <input type="checkbox"/> 支援機器 (補聴器等) の管理ができない。 <input type="checkbox"/> ICT 等の活用に不慣れ。	<input type="checkbox"/> 感覚の補助代用及び代行手段の活用に関すること
	<input type="checkbox"/> 自分の病気の理解が難しい。 <input type="checkbox"/> ストレスの要因の理解、対応が難しい。 <input type="checkbox"/> 服薬している薬の理解と管理が難しい。	病気の状態の理解と生活管理	<input type="checkbox"/> 自分の病気の理解 <input type="checkbox"/> ストレスへの対応や発散方法 <input type="checkbox"/> 体調管理		<input type="checkbox"/> 複雑なルールがある活動が苦手。 <input type="checkbox"/> 場面や状況から、やるべきことを見出すことが難しい (整理整頓、掃除等も)。 <input type="checkbox"/> 情報をまとめて判断するのが苦手。 <input type="checkbox"/> 抽象的概念の理解が難しい。 <input type="checkbox"/> 口頭指示が通りにくく、具体物がないと理解が難しい。 <input type="checkbox"/> 場面に合わない突拍子もない行動をとる。	<input type="checkbox"/> 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握と状況に応じた行動 <input type="checkbox"/> 概念の形成 (もの機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等)
	<input type="checkbox"/> 怪我の痛みが分からない時がある。 <input type="checkbox"/> 自分の身体に関心が無い。 <input type="checkbox"/> 失敗から、自分を否定的に捉えてしまう。 <input type="checkbox"/> 大きな音がすると不安定になる。	身体各部の状態の理解と養護 障がいの特性の理解と生活環境調整	<input type="checkbox"/> 身体各部の状態の理解 <input type="checkbox"/> 患部の保護 ○身体を養護する力 <input type="checkbox"/> 自己の障がいの理解 <input type="checkbox"/> 自ら生活環境を整える力		<input type="checkbox"/> 常に、体が動く。椅子に座れない。 <input type="checkbox"/> 起立の姿勢維持が難しい。 <input type="checkbox"/> 運動が苦手 (走る、投げる、取る等)。 <input type="checkbox"/> 身体に麻痺がある。	<input type="checkbox"/> 姿勢保持 <input type="checkbox"/> 姿勢保持のための環境づくり <input type="checkbox"/> 運動 <input type="checkbox"/> 関節の拘縮や変形の予防
心理的な安定	<input type="checkbox"/> 常に、イライラ、落ち着きがない。 <input type="checkbox"/> 状況が変化すると不安になる。 <input type="checkbox"/> 集団行動が苦手、参加できない。	情緒の安定に関する事	<input type="checkbox"/> 不安要因の解明と適切な対応 <input type="checkbox"/> 興奮要因の解明と適切な対応	身体の動き	<input type="checkbox"/> 必要の補助用具の活用に不慣れ。	<input type="checkbox"/> 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用
	<input type="checkbox"/> 場面や状況の理解が難しい。 <input type="checkbox"/> 急な予定やルール変更の受け入れが難しい。 <input type="checkbox"/> 順番や勝敗、やり方で、パニックになる。	状況の理解と変化への対応に関する事	<input type="checkbox"/> 場面・状況の理解 <input type="checkbox"/> 場面・状況変化への適切な対応		<input type="checkbox"/> 靴ひも結び、ボタン等ができない。 <input type="checkbox"/> はさみ、カッター、定規、分度器、消しゴム等の扱いが不器用。	<input type="checkbox"/> 日常生活に必要な基本動作に関する事 <input type="checkbox"/> 学習用具の扱い方 <input type="checkbox"/> 不器用さを改善する用具の扱い方
	<input type="checkbox"/> 興味・関心の偏り。 <input type="checkbox"/> 「どうせ、、、」が口癖。 <input type="checkbox"/> 夢中になることが少ない。	改善・克服する意欲に関する事 *一部略	<input type="checkbox"/> 障がいの状態の理解と受容 <input type="checkbox"/> 障がいの改善・克服の意欲向上 <input type="checkbox"/> 生きがい探し		<input type="checkbox"/> 必要な補助用具の活用に不慣れ。	<input type="checkbox"/> 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用
人間関係の形成	<input type="checkbox"/> 教師や友達に不信感がある態度。 <input type="checkbox"/> 他者に関心が無い。共同での活動が難しい。 <input type="checkbox"/> 双方向の会話、やりとりが苦手。	他者とのかかわりの基礎に関する事	<input type="checkbox"/> 人に対する信頼感 <input type="checkbox"/> 他者の存在の気づき <input type="checkbox"/> 他者とのやりとり (受容と対応)	コミュニケーション	<input type="checkbox"/> 作業活動に取り組むことが苦手。 (制作、調理等での手先を使った活動) <input type="checkbox"/> すぐに飽きる。	<input type="checkbox"/> 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事 <input type="checkbox"/> 巧緻性の向上 (目と手の協応、正確さ、速さ) <input type="checkbox"/> 持続力の向上
	<input type="checkbox"/> 教師や友達の言葉の意味や感情の理解が難しい (冗談やことわざも)。 <input type="checkbox"/> 表情や声の調子から相手の感情を理解するのが難しい。	他者の意図や感情に関する事	<input type="checkbox"/> 他者の意図や感情の理解 <input type="checkbox"/> 言葉 (ことわざ、冗談等) の理解 <input type="checkbox"/> 身振りや表現の理解		<input type="checkbox"/> 人に伝えようとする意識が少ない。 <input type="checkbox"/> 教師や友達に、あまり関心が無い。 <input type="checkbox"/> 身振り等の意味の理解や活用が難しい。	<input type="checkbox"/> 伝えたい気持ちの育成 <input type="checkbox"/> 伝えたい内容の拡充 <input type="checkbox"/> 伝えるための手段の拡充
	<input type="checkbox"/> 何度も同じ注意を受ける。 <input type="checkbox"/> 衝動的な行動が抑えられない。 <input type="checkbox"/> 気持ちが急いで、失敗することある。	自己の理解と行動の調整に関する事	<input type="checkbox"/> 自分の得意、不得意なこと理解 <input type="checkbox"/> 自己理解から、行動を調整していく <input type="checkbox"/> 集団行動の中で状況に応じた行動		<input type="checkbox"/> 会話での語彙が少ない。 <input type="checkbox"/> 相手の話を受け入れることが難しい。 <input type="checkbox"/> 考えを整理して話すのが難しい。	<input type="checkbox"/> 話し言葉や各種の文字・記号等を用いて伝える <input type="checkbox"/> 相手の意図を受け止め、自分の考えを伝える
環境の把握	<input type="checkbox"/> 物を見る時、顔や見る物をかたむける。 <input type="checkbox"/> 聞く力が弱い。 <input type="checkbox"/> 記憶力が弱い。	保有する感覚の活用に関する事	<input type="checkbox"/> 視覚、聴覚、触覚などの使える感覚を最大限に活用する力	コミュニケーション	<input type="checkbox"/> 生活に使う言葉や語彙の理解不足 (物の名前、形容表現、抽象表現)。 <input type="checkbox"/> 文章の読解力が乏しい。 <input type="checkbox"/> 助詞等の理解不足。	<input type="checkbox"/> 言葉の習得 <input type="checkbox"/> 概念の形成 <input type="checkbox"/> 文法の理解
	<input type="checkbox"/> 書字、音読、図形等が苦手。 <input type="checkbox"/> 指示を聞いて、自ら考え、判断して行動することが難しい。 <input type="checkbox"/> 音や感触などの過敏からパニックになる。	感覚や認知の特性についての対応に関する事	<input type="checkbox"/> 感覚情報の適切な処理・対応 <input type="checkbox"/> 聞いたこと、見たこと、考えたことを記憶、判断、決定等の行動化 <input type="checkbox"/> 過敏要因に対する対応		<input type="checkbox"/> ICT、文字ボード等を活用したコミュニケーション手段に不慣れ。	<input type="checkbox"/> コミュニケーション手段の選択と活用に関する事 <input type="checkbox"/> コンピュータ等の電子機器の選択活用
					<input type="checkbox"/> 話に割り込む、場違いな質問をする。 <input type="checkbox"/> 字義通りに受け取る。 <input type="checkbox"/> 場面や状況にあったやりとりが苦手 (話し方、メモを取る、うなづく)。	<input type="checkbox"/> 状況に応じたコミュニケーションに関する事 <input type="checkbox"/> 場面や状況に応じたコミュニケーションスキル (聞き方・メモの取り方・質問の仕方・報告の仕方・話し方等)

※ あくまでも参考資料です

福島県特別支援教育センターより

『授業研究シート』

住之江支援学校HP → トップ → 学校長より → カリキュラムマネジメント

<授業研究シート>

令和3年度

学部
学年
科目
期

授業名 「 」

場所
指導者数
担当

指導目標	
------	--



アグティブラーナーを支える支援アイデア(授業の中で大切にしている項目にチェック)	
環境設定・環境 (主体性・対話・深い学び)	主体的な学び(自ら考え行動できる力を高める工夫)
<input type="checkbox"/> ①:重点的に工夫 <input type="checkbox"/> :工夫している <input type="checkbox"/> :該当しない <input type="checkbox"/> 理解の程度・ペースに応じた学習内容の変更・調整 <input type="checkbox"/> 時間・時程がいつでも確認できる <input type="checkbox"/> リラックスまたは個別スペースの活用 <input type="checkbox"/> リラックス・イライラ解消グッズの活用 <input type="checkbox"/> 感覚過敏へ配慮した環境調整 <input type="checkbox"/> 児童生徒にとって便利な掲示物 <input type="checkbox"/> 知識やこぼれを育む掲示物 <input type="checkbox"/> 児童生徒にわかる提示方法 <input type="checkbox"/> 小さなグループ分け・活動形態の調整 <input type="checkbox"/> 必要に応じて休憩ができる教室環境 <input type="checkbox"/> 感覚遊びや運動を途中に取り入れる <input type="checkbox"/> 座席の配慮・工夫 <input type="checkbox"/> 個々に応じた学習時間・休憩頻度の設定 <input type="checkbox"/> 生徒の反応速度に応じた指導の工夫、主体的に活動できるための速度・時間に関する調整 <input type="checkbox"/> 感覚ニーズに対応する活動・器具(令和2年度通知) <input type="checkbox"/> 連絡や目的の場所が視覚的に理解できる工夫	<input type="checkbox"/> ①:重点的に工夫 <input type="checkbox"/> :工夫している <input type="checkbox"/> :該当しない <input type="checkbox"/> 明確な目標提示 <input type="checkbox"/> “わかる”視覚提示 <input type="checkbox"/> “わかる”を促す適切な言語表現 <input type="checkbox"/> “わかる”スケジュール提示 <input type="checkbox"/> 時間や流れの一貫性・構造化 <input type="checkbox"/> 場所や活動内容の一貫性・構造化 <input type="checkbox"/> 実態に合った、明確なルールの提示 <input type="checkbox"/> 各々の得意なやり方で取り組む設定 <input type="checkbox"/> 選択できる活動 <input type="checkbox"/> 最低限の“指示”。主体性を育む会話 <input type="checkbox"/> 最後まで自力で取り組める支援ツール <input type="checkbox"/> 体験を始めにさせる・体験を基にした学習展開 <input type="checkbox"/> “得意”を活かした学習 <input type="checkbox"/> モチベーションの高い活動 <input type="checkbox"/> 強化器(子)の活用 <input type="checkbox"/> 達成状況を視覚的に提示 <input type="checkbox"/> キーワード・スポーツ等を活用し自分の学習過程を確認
対話的な学び(コミュニケーションの力を高める工夫)	深い学び(学びが定着しても学んだことを活用できる力を高める工夫)
<input type="checkbox"/> ①:重点的に工夫 <input type="checkbox"/> :工夫している <input type="checkbox"/> :該当しない <input type="checkbox"/> 児童生徒がリラックスできる雰囲気作り <input type="checkbox"/> 絵・写真の活用、指導(児童生徒が使用) <input type="checkbox"/> 手話・サインの活用、指導 <input type="checkbox"/> 音声ツールの使用 <input type="checkbox"/> 友だちと一対一の言語活動 <input type="checkbox"/> 4人以下の小グループでの言語活動 <input type="checkbox"/> 小グループでのディスカッション <input type="checkbox"/> 友だち同士の関わり合いを促した設定 <input type="checkbox"/> 子どもが応えたいくなるような指導者からの質問 <input type="checkbox"/> 話を広げる指導者のほたらきかけ <input type="checkbox"/> 会話を広げる指導者のほたらきかけ <input type="checkbox"/> 対話の展開が確認できる工夫 <input type="checkbox"/> ボーディング ¹⁾ やロールプレイの活用	<input type="checkbox"/> ①:重点的に工夫 <input type="checkbox"/> :工夫している <input type="checkbox"/> :該当しない <input type="checkbox"/> 見る・触る・嗅ぐ・話す・作る・体験するなどの複数の感覚器を使った学習 <input type="checkbox"/> 経験を基に考える機会を多く設ける <input type="checkbox"/> 授業の振り返り(自己評価を含め) <input type="checkbox"/> 仲間と教え合う場面の設定 <input type="checkbox"/> 学校生活場面で直ぐに使える題材 <input type="checkbox"/> 生活場面で応用可能・役立つ題材 <input type="checkbox"/> 児童生徒にとって役立つと感じられる題材 <input type="checkbox"/> 場面が変わってもできるためのステップ・設定 <input type="checkbox"/> 自分の長所について理解する学び <input type="checkbox"/> 自己効力感 ²⁾ や自尊感情 ³⁾ が育つ学び <input type="checkbox"/> 自分の思いや考えを基に学習が展開される工夫 <input type="checkbox"/> 「これができるとなりたい」等、自分らしい生き方の実現につながる具体的ステップの設定 <input type="checkbox"/> 問題解決・学習方略に着目 <input type="checkbox"/> (課題解決の方略に関する質問・理解を促す支援)

支援のアイディアリスト
としてご活用ください

(4) 今後の課題

サイン言語の **保護者・家庭** との共通理解

中学部・高等部 への引継ぎ

進路先 への引継ぎ

サインカードを自由にカスタムできるようにする

他の AAC ツールの併用・活用

本人にとって、**一番負担の少ない方法**を選択する

日常生活

おはよう／あさ



ひる



ありがとう



ごめん



すき／したい



きれい／いや



学校生活

がっこう



べんきょう／じゅぎょう



せんせい



こくご



さんすう



すうがく



ゆびもじ (じぶんからみたかたち)

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
を	り	がぎぐげご	み	ひ	に	ち	し	き	い
ん	る	ゆ	む	ふ	ぬ	っ	す	く	う
ちいさい や・ゆ・よ・つ	れ	ばびぶべぼ	め	へ	ね	て	せ	け	え
-(のばす)	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

※ この指文字表は『親子でまなぼう！はじめての手話 楽しみながら基本がわかる』（メイツ出版株式会社）を一部参考に作成しました

ゆびもじ (じぶんからみたかたち)

					ー 	や 	ば 	だ 	が
						ゆ 	び 	ぢ 	ぎ
					よ 	ぶ 	づ 	ぐ 	
					っ 	へ 	て 	げ 	
						ぼ 	ど 	ご 	

※ この指文字表は『親子でまなぼう！はじめての手話 楽しみながら基本がわかる』（メイツ出版株式会社）を一部参考に作成しました

す



み



の



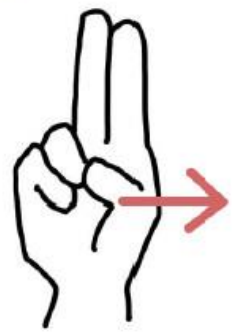
え



み



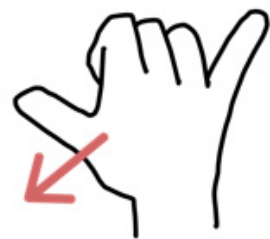
ど



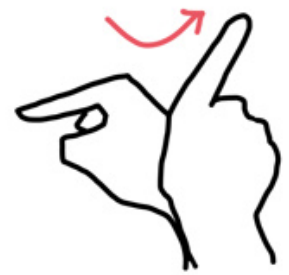
ち



や



ん



『A²』は、住之江支援学校ホームページ
よりダウンロードできます

※「幼・保」「小」「中・高」の3段階があります

<https://www2.osaka-c.ed.jp/suminoe-s/a/>